

# 教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8

兵庫県教職員組合

発行人 山名 幸一

編集人 泉 雄一郎

電話 050(3538)2346

1部7円 年定価280円

(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2011/12-1

No. 1802

2面

分科会、展示・体験コーナー

概要と参加者の声

アンケート、速報「カーネーション」

より

## 2011 対県賃金確定闘争 妥結！！

# 重要課題において前進的的回答を引き出す！

## 独自カット一部緩和・現給保障を維持！

給料表の改定は2012年4月から先送り、自宅に係る住居手当を据え置きに

県教育長との最終交渉に臨む兵庫教組執行部。  
(11月28日、兵庫県庁舎3号館にて)



最終の要求書(累計18,050名)を県教育長へ提出した。(11月28日)

### 全組合員の団結のもと、県教育長宛 「賃金・労働条件の改善に関する要求書」 99・94%集約！！(休職者等は除外)

— 主な県教委回答 —

- ◆一時金において、行革による減額措置の一部を緩和
- ◆現給保障の廃止や引き下げについては、来年度協議
- ◆給料表の改定は2012年4月から先送り
- ◆自宅に係る住居手当は、今年度は据え置き、2012年度以降の取扱いについては来年度協議
- ◆勤務実績の勤勉手当への反映措置については、継続協議
- ◆臨時的任用教員の最高限度号給を引き上げ

11対県確定闘争において、兵教組は11月28日、最終の県教委交渉を実施した。

これまで県教委は、本県の極めて厳しい財政状況を強調し、独自カットの継続、現給保障の廃止、勤務実績の勤勉手当への反映の拡大などを示唆してきた。

これに対し兵教組は、「独自カットの即時回復、賃金水準の改善、地域間・個人間・世代間の格差・差別拡大反対」などを基本に、人事委員会勧告をふまえて県教育長に対し、「2011年度教職員賃金等に関する申し入れ」を提出し、その要求実現をめざして県教委交渉を積み重ねてきた。

今次対県確定闘争は、東日本大震災の影響から人事院勧告が大幅に遅れたことや、「国家公務員の給与の臨時特例に関する法律案」や「国家公務員制度改革関連4法案」をめぐる不透明な国会情勢が確定交渉へ影響を与えたことなど、例年とはちがった情勢となり、短期間でのとりくみとなつた。

兵教組は第6回戦術会議で、最終の県教委回答は、重要案件とした諸課題について当初提案から大きな前進をはかり、現在の教職員をとりまく情勢にあつては一定の成果があつたと判断。満場一致でこれらを確認し、11月28日午後11時58分、県教委提案を受け入れ、妥結した。また、独自カット

◆回答の前進的部分

県教委はこの間、本県の極めて厳しい財政状況や、現給保障の廃止、勤務実績の勤勉手当への反映の拡大などを示唆してきたが、最終段階で①給与の独自カットについて、昨年度と同様の措置による一部緩和の実施、②給料表については2012年4月からの引き下げ、③現給保障の廃止や引き下げは来年度協議、④自宅に係る住居手当の今年度据え置き、2012年度以降の取扱いは来年度協議、⑤来年度から、脳ドック受診時のサービスの専ら適用、⑥一般疾病による長期休職者への「プレ出勤」の適用、⑦臨時的任用教員の2級最高限度号給引き上げ、などの前進的な回答があつた。

◆教育長コメント

また、行財政構造改革に係る給与の独自カットについて、教育長は「給与の独自カットについての昨年度と同様の措置による一部緩和は、本県の厳しい財政状況のもと、限られた選択肢の中で、私どもとして取り得る、ぎりぎりの措置であります。給与の行革措置について、皆さん方に来年度もご協力をお願いせざるを得ない状況については、大変申し訳なく思っております。一日も早く財政の再建を図り、給与の独自カットを回復させたいという思いを基本に、毎年度の財政状況を見ながら、誠意を持って毎年度協議させていただきたいと思っております。どうか、皆さんのご協力をお願いいたします」と述べた。

兵教組は第6回戦術会議で、最終の県教委回答は、重要案件とした諸課題について当初提案から大きな前進をはかり、現在の教職員をとりまく情勢にあつては一定の成果があつたと判断。満場一致でこれらを確認し、11月28日午後11時58分、県教委提案を受け入れ、妥結した。また、独自カット

ト問題について、来年度こそ完全回復するよう強く要求した。

県の財政状況が非常に厳しい中で、前進的的回答を引き出したのは、「賃金・労働条件の改善に関する要求書」を99・94%の高率で集約できたように、兵教組の団結の力によるものである。

※詳細は、速報ならびに12月から1月にかけておこなう妥結内容学習会にて。

(11月28日、ひょうご共済会館にて)



第2波統一決起集会



第1波統一決起集会



第5回給与と確定交渉



第4回確定交渉



県内7ヶ所一斉統一集会(県庁前)

### ご退職されるみなさまにおすすめ!

## 教職員共済生協の さぽ〜とプラン

**年金コース ▶ 公的年金にプラスしてゆとりあるセカンドライフを**

◆ご希望の年金額(月額1万円~6万円)、受取り方法に応じた掛金を一括払い。

**受取り方法**

- 定額型** 公的年金に一定額を上乗せしたい方に
- 前払型** 受取り当初5年間の備えを厚くしたい方に
- 増額型** 物価上昇等に備えて年金を増やしたい方に

**受取期間はそれぞれ10年・15年・20年・終身の中から選べます。 ※定額型のみ5年確定年金を選ぶこともできます。**

**ご契約例/定額型・月額5万円、受取期間10年**

一時払掛金(準備期間1年間) **568.8万円** → 10年間の受取総額 **600万円**

5万円×12ヵ月 60万円 60万円 60万円 60万円 60万円 60万円 60万円 60万円 60万円

準備期間(1年間) 年金受取期間(10年間)

## 教職員共済

### で充実のセカンドライフを!

**生活保障コース ▶ まとまった資金で遺族保障。予備資金にもなります**

退職金や余裕資金など、まとまった資金を活かして掛金を一時払いし解約時には解約返戻金が支払われるのでご契約後に資金が必要になったときも柔軟に対応できます。

**ご契約例/基本契約:300万円**

年齢60歳女性の場合 一時払掛金/2,100,270円

**基本契約 300万円(生涯保障)**

解約返戻金の推移

3年後	5年後	10年後
2,122,380円	2,180,130円	2,326,020円

※ご契約後3年未満で解約された場合は解約返戻金が払込掛金を下回ります。  
※解約されると以後の保障はなくなります。

- 現職・退職を問わず60歳までは100万円~2,000万円、61歳~70歳の方は100万円~500万円の範囲でご契約いただけます(10万円単位)。
- 掛金は性別・年齢により異なります。
- ご契約時に医師の審査は必要ありません。



ひょうご教育フェスティバル 第61次兵庫県教育研究集会

分科会 展示・体験コーナー

アンケート、速報「カーネーション」より 概要と参加者の声 (一部抜粋)

※★印は参加者の感想。

分科会

1 日本語教育

1 日本語教育
レポート数は22本。話し合い、ことばの指導、「感性」や「認識」を育てることに...

3 社会科教育



3 社会科教育
地域に根ざした歴史学習の学ばせ方や習得した知識をどう活用させるかなどが...

6 美術教育

6 美術教育
テーマや教材などの工夫、展開の大切さが討議された。作詩などの言語活動や...

8 技術・家庭科教育

8 技術・家庭科教育
新学習指導要領で必修化された「生物育成」により、多くの学校で実施されている...

11 自治的諸活動と生活指導

11 自治的諸活動と生活指導
生活指導における教職員の連携、小学校における縦割り活動の成果と課題、授...

14 障害児教育

14 障害児教育
通級やセンター校方式など、学習形態や本人の思い、学級の雰囲気、小・中・高卒業後の進路などが話し合われた。

17 環境・公害・食教育

17 環境・公害・食教育
学校給食を核とし、子どもたちが健康な食生活が実践できる食教育、家庭・地域社会との連携を密にした食育、身近な環境を見つめ、...

19 情報社会と教育

19 情報社会と教育
デジタル教科書の問題点や使用の有無による比較検証の必要性などが討議された。また、特別支援教育において、機器のボタン操作が進路保障へつながるので...

22 小規模・少人数校の教育

22 小規模・少人数校の教育
小規模校だからこそできる、全学年でのとりくみや活動について話し合われた。
★多くの地域に統合をはじめる課題が存在し、たまたかっている現状を知った。
★規模は違えど、悩みや願いは同じだと感じた。

23 教育条件整備の運動

23 教育条件整備の運動
校務効率化のためのICT化の問題点や職員教育の条件整備に対する意識の向上などが討議された。
★いかにデータを持ち出して作業するかではなく、いかに学校で作業を終わらせるかという議論が必要ではないか。
★教育条件整備にとつての「人・物・金・情報」の重要性を知ることができた。

2 外国語教育

2 外国語教育
本格実施されている外国語活動の具体的な実践の紹介や地域リポーターとして、外国語活動支援ボランティアの方々に参加、広い視点での分科会となった。
★地域との交流が31年間続いていることに関心した。
★他国や地域の支援を受け...

4 算数・数学教育

4 算数・数学教育
子どもたち自身が課題をみつめる活動、考え方の交流やスキルの定着などの実践活動が討議された。
★表現力を意識したとりくみが多かった。より効果的な手立てを講じていく必要があると感じた。

7 音楽教育

7 音楽教育
音楽活動や担任と専科との連携による学校づくりが話し合われた。また、特別支援学校での音楽活動が報告された。
★特別支援学校での音楽活...

9 保健・体育

9 保健・体育
体力の向上を絡めた組織的なとりくみや健康教育、安心・安全な学校保健のすすめ方、改訂される領域についての授業づくりなどが討議された。
★授業だけでなく、養護教諭の視点から学校生活の中での指導なども聞けてよかった。
★多くの体育実践を知ることができた。

12 幼年期の教育と保育問題

12 幼年期の教育と保育問題
幼・保・小のよりよい連携をめざし、体験入学の課題などが意見交換された。
★なかなか聞けない異校種の貴重な意見を聞くことができた。
★スムーズな連携体制や相互理解により、子どもたちが抱く入学の不安を取り除く手助けになればと思う。

15 国際連帯の教育

15 国際連帯の教育
足もとの国際化をどうすすめるか、ゆたかな世界認識と地球規模での考える教育をどう創造するか、クラスで発表できるようにするまでの実践や学習言語の習得が討議された。
★日本語の習得が必要かを、保護者と話し合うことが大切だと感じた。

18 平和教育

18 平和教育
ヒロシマ、ナガサキ、オキナワ、地域の自主的活動を生かした平和教育が討議の柱。平和教育において、単に戦争体験を子どもたちに教える終わるのではなく、なぜ平和教育が大切なのかを気づかせることの重...

21 教育課程

21 教育課程
各校のカリキュラムや教科担任制、少人数教育、少人数授業の児童・生徒の分け方についてなどが討議された。
★とりくみは違えど、目の前の子どもに即した様々な指導方法で授業を工夫されており、勉強になっ...

特別分科会I

特別分科会I
生きる力を育む教育
地域と連携した環境教育、「トライやる・ウィーク」、教材とつながり、仲間とつながり、未来の自分とつながるなどが討議の柱。
★自己反省するともに、...



5 理科教育

5 理科教育
教材づくり(選び)について、実態や環境に適したもの、身近なもの、手軽に手に入るものなど、子どもたちの興味・関心をひくものなどが話し合われた。
★教材についての意見交流が参考になった。
★子どもの生活に結び付けることが、自ら考える意欲につながることを再確認できた。



★音楽教育が子どもたちの心の育ちにおいて、いかに大切に豊かさをもたらすものか改めて実感した。
★音楽教育が子どもたちの心の育ちにおいて、いかに大切に豊かさをもたらすものか改めて実感した。
★音楽教育が子どもたちの心の育ちにおいて、いかに大切に豊かさをもたらすものか改めて実感した。

★まずは、子どもの話しを聞くことだと感じた。
★性別に関わりなく「くさん」という呼び方についてなどが討議された。
★意識を高くもつことの大切さを感じた。そのため、気づく目を自分の中に育てなければならぬと思った。



★学習発表会や劇、戦争体験者の話を聞くことで、平和教育を多面的に考えることが生徒への啓発となることが分かった。
★どんな学校でも共通して大切なことはあると感じた。
★学校以外の方からの、さまざまなとりくみが大変参考になった。

★展示・体験コーナー
またまだ頑張らなければと意欲が出てきた。
★いろいろな実践は試してみたが、つながる意識は持てていなかったように思う。改めてこれから学んでいきたい。



ふき戻し体験



野島断層からのメッセージ



親子でつくろう郷土料理教室



手づくりひろば